

図書館のポテンシャルを引き出す 様々な取組み

人と本、人と人をつなぐ
生駒市図書館

目次

1. 生駒市版 図書館、図書館職員の在り方
2. 人口12万人に5つの図書館施設
3. 新しい読書のかたち ビブリオバトル
4. 図書館とまちづくりワークショップ
5. 本を切り口にすると人が集まる居場所が出来ました
6. 「自分の可能性をあきらめない」
図書館はその想いをサポートします
7. 様々な 図書館 × ○○○

1. 生駒市版 図書館、図書館職員の在り方

<生駒市のあるべき状態（ビジョン）>

自分らしく輝けるステージ・生駒

<図書館の使命（ミッション）>

このまちで暮らす価値を、ともにつくる

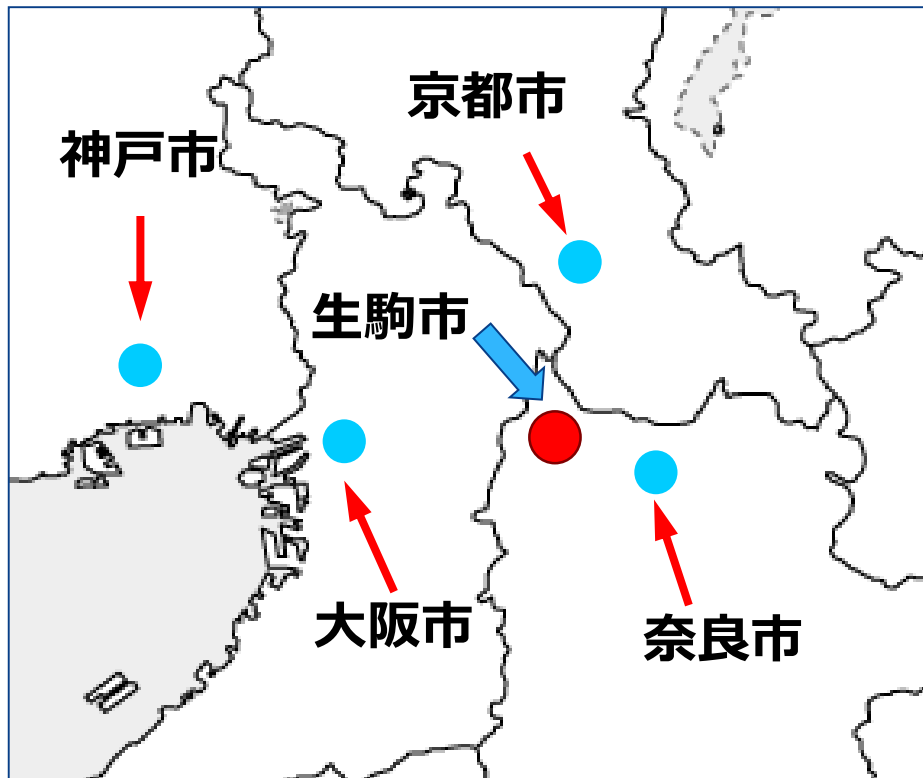
<図書館職員が大事にする価値観（バリュー）>

(Mを遂行し、Vを達成するために常に立ち返る価値観)

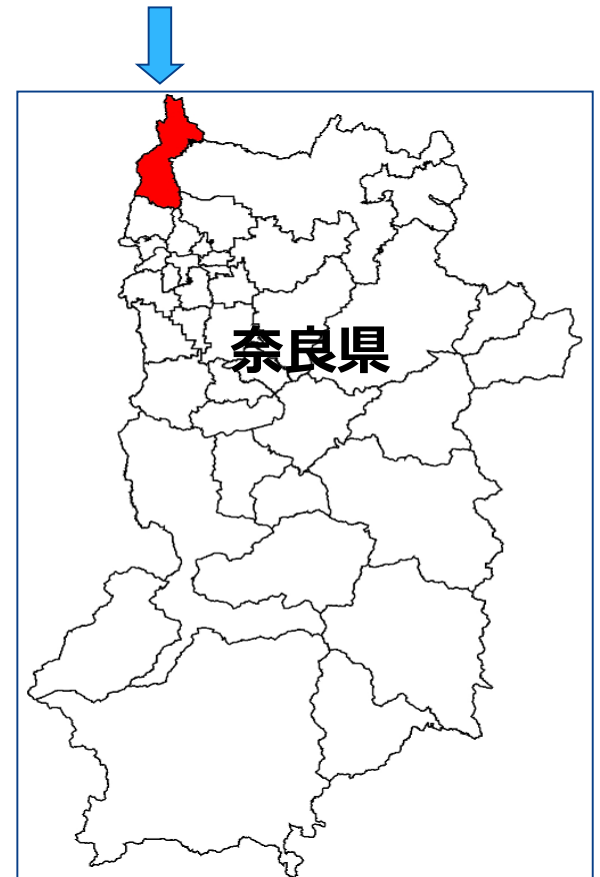
生駒愛・人間力・変革精神

 生駒のまちづくりに図書館は欠かせないピースである

2. 人口12万人に5つの図書館施設



生駒市



生駒市：面積 53.15km² 人口12万人
令和3年市制50周年を迎えます

生駒市の図書館(市内5ヶ所)

生駒市図書館(本館)



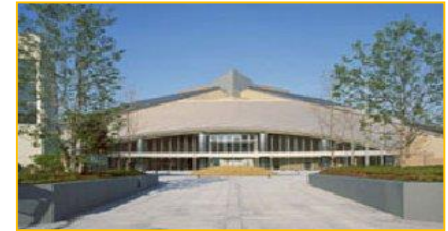
昭和62年3月開館

鹿ノ台ふれあいホール図書室



平成6年4月開室

生駒市図書館北分館



平成14年11月開館

生駒駅前図書室
木田文庫

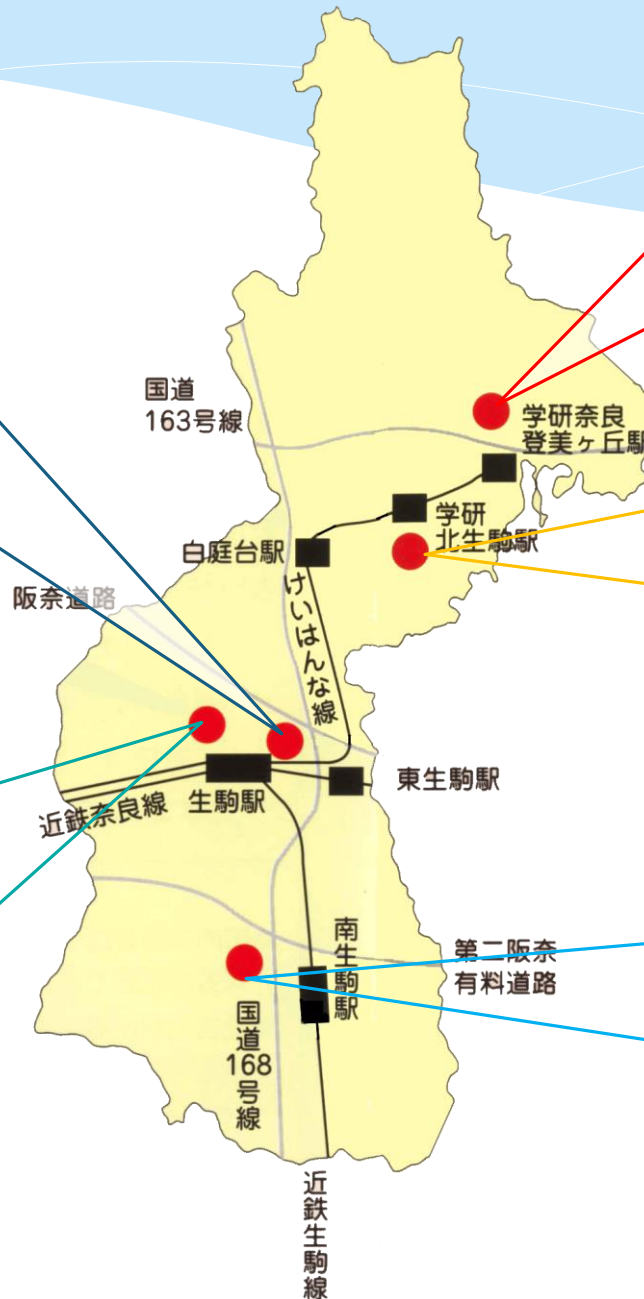


平成26年4月開室

生駒市図書館南分館



平成10年4月開館



* 管理形態 直営

* 各館（室）に司書を配置

職員数 28名（臨時職員を除く再任用含む）
うち司書 21名

* 同規模自治体（人口15万人以下）101市区での比較

（『図書館年鑑2020』）

蔵書冊数	16位	約630,000冊
資料費	17位	約42,060,000円
貸出数	5位	約1,286,000点
予約件数	9位	167,747件

3. 新しい読書のかたち **ビブリオバトル**

- ・読書は個人活動 ⇒ 「スキ」な本を語り合う場。
「ひと」に関心。本好きのコミュニティづくり。
- ・ゲーム性があり、誰でも気軽に参加できる = 新しい利用者層の開拓

○**定例ビブリオバトル 毎月1回** これまでに80回

○**第6回ビブリオバトル全国大会inいこま**

令和3年3月14日（日）ゲストミシマ社代表三島邦弘氏

・**全国からバトラーと観戦者が集まる**

年齢無制限の唯一の全国大会

・**トークイベントも開催**

過去実績：津村記久子氏、朝井リョウ氏、
辻村深月氏、万城目学氏、
大宮エリー氏（コロナのため中止）

・**生駒のおみやげ市（商工会議所連携）**

・**市内中学生大会チャンプ^o出場**

二つの大会が両輪となって読書推進となる



市外からの観戦者も多い
市内：140人 市外：210人

○生駒市長杯ビブリオバトル市内中学生大会

文科省第四次「子ども読書活動の推進に関する基本的な計画」でもビブリオバトルを推奨

- ・校内予選を行い、各校の代表による予選、決勝を図書館で行う。
- ・参加促進のため、市内中学生によるポスターコンクールを実施。



➡ チャンプ本紹介者は全国大会へ出場

○全国大学ビブリオバトル予選会・地区決勝

- ・「活字文化推進会議」主催。
生駒市図書館は平成25年度から参戦。
- ・県内の大学との連携

図書館実習生、帝塚山大学、奈良大学、天理大学、奈良県立大学

このほか、一般募集の大学生などが参加



4. 図書館とまちづくりワークショップ

平成28年「図書館とまちづくりワークショップ」開催

3回開催・市民22人参加

おはなしボランティア、ビブリオ倶楽部、
成人式実行委員OB、子育てボランティア、
国際交流ボランティア、図書館司書実習生、教諭等
講演会講師：慶應義塾大学教授 糸賀雅児氏



成果（参加市民からのアイデア）

- ・ 図書館でお茶会をしよう → 地場産業振興、里山保全を図書館から
- ・ 本から飛び出せ！リビングライブラリー → 「人」も図書館資料である！
リビングライブラリー：障害のある人やユニークな職業の人、様々な体験や志向を持つ人などが、一冊の本となって自分の体験や考えを聴き手に直接話す図書館
- ・ サロンdeいこま ともだち100人できるかな → 本のある居場所作り

ワークショップの成果 平成29年度以降への事業展開

- ①北分館「お茶会@北分館×茶釜のふるさと」
- ②生駒駅前図書室「本棚のWA」
- ③「まちかど図書室」

市民団体



市民講師



図書館

ワークショップ
から生まれた
市民提案事業
①

生駒市の特産品「茶筌」を応援

「お茶会@北分館×茶筌のふるさと」

「高山茶筌の会Wi-Wi」との協働事業

親子でお茶会や茶筌制作の体験、調べ学習、一般市民を招いてお茶会など。

図書館利用の楽しさを知り、ふるさとへの興味を深めてもらう。



ワークショップ
から生まれた
市民提案事業

②

驚きの"わ" "輪" "和" "話"

「本棚のWA」

「本棚サークル」との協働事業。生駒にゆかりのある人が講師となり参加者と語り合う場。

平成29年度 「地ビールは大好き」

「秋の日のヴィオロンの」

「名刺でつながる本棚のWA」

平成30年度 「くちびるにオカリナを」

「MY写真館」

「珈琲らぶの人々」

令和元年度 「余は如何にして
講談師となりし乎」

「バーのある人生」



閉館後の駅前図書室で事業実施



ワークショップ
から生まれた
市民提案事業

③

地域に「本のある居場所」を作る

「まちかど図書室」

- ・ 来館困難な高齢者や子ども等が身近に利用できる
- ・ 本を活用した仲間づくり、情報交換、異世代交流
(登録12団体) 犬の保護譲渡施設、自治会館、
包括支援センター、高齢者施設、お寺など
(図書館からの支援) 本の譲渡、読み聞かせ、音訳出前



5. 本を切り口にすると 人が集まる居場所が出来ました

(1) 図書館で部活動 10~20代の「本活部」

■ 本活部の活動

第2、第4土曜日PMが活動日

部員がメンバーを勧誘することが多い

職員と部員のコミュニケーションの広がり

■ 赤毛のアンの春色キッチン

■ 関西初上陸！読みフェス

■ 企画展 平成の若者と昭和の大人



(2) まわしよみ新聞

新聞記事を持ち寄って地域の仲間とおしゃべり。

平成30年3月から 3ヶ月に1回



(3) 読書会という名のおしゃべりサロン

「まわし読み新聞」から自主的に発展。

平成30年9月から 計18回



(4) 「未在亭」 市民団体「図南の翼」との協働事業

未在…禅語で「まだまだ学ぶべきことがある」

亭…奈良時代最古の図書館「芸亭」

平成29年度

「味な酒、味な人生」「大和・生駒に名産あり」

「ひと味ちがうヨーガの世界」

平成30年度「まさか、生駒が!?防災事始」

「蓄音機はタイムマシーン」「自然派ワインのつきない話」

令和元年度

「足にも人にも優しい話」「豆腐でトーク」

「弦が奏でる贈り物」



6. 「自分の可能性をあきらめない」 図書館はその気持ちをサポートします

(1) 本の宅配サービス (無償)

来館困難者へボランティアによる宅配

平成26年度鹿ノ台地域から開始、その後段階的に
全市域 (H28)に拡大。

近所の人同士の助け合い感覚、見守り機能



(2) 「朝活読得会 (あさかつよんどくかい)」

口コミで大人気！高齢者の健康づくり

「中地区健康まちづくり協議会」との協働事業

開館前の図書館で、週一回体操、呼吸法、
音読を行なう。令和元年8月スタート。



(3) 音訳サービス 障がい福祉課、福祉センターとも連携

「耳で楽しむ本の会」
出前「耳で楽しむ本の会」
対面音訳 録音図書を作成
音訳ボランティアを養成し協働して活動



誰でも参加できる「耳で楽しむ本の会」

こども
あずかる
らいぶらり

(4) 図書館託児事業 「こあら」

図書館で養成した託児ボランティアが保護者にゆったりとした読書の時間をプレゼント

- 子どもの読書推進：保護者に読書の時間を提供することにより、子どもも本に親しむことに繋がる。
- 地域のコミュニティ形成：地域の子育ての先輩が地域の子どもたちを育てる。



(5) 女性の活躍支援

テレワーク&インキュベーションセンターへの協力
多様な働き方を求める女性等にレファレンス、
参考図書紹介、パスファインダー 作成配布



(6) 学校に行けなくなった不登校の子どもたちをサポート

教育支援施設「いきいきホットルーム」の生徒受け入れ

図書館の使い方や本の調べ方、本のフィルムコートや 和綴じ本の制作講習など、
図書室で授業実施
職場体験受入

(7) 就労・自立支援

- ・ 学習支援教室での絵本の読み聞かせ 毎月2回
- ・ ユースネットいこま（生駒市子ども・若者総合相談窓口）において個別にブックトークを行う「HONNE（ほんね）」5件
- ・ 配架などボランティア受け入れ（社会体験）事業 3件

7. 様々な 図書館 × ○○○

様々な主体が図書館と連携することによる相乗効果を期待

(1) 図書館をとびだして 読み聞かせ、おはなし会等

- ・ いこまの魅力創造課 「IKOMA SUN FESTA」 森の図書館
- ・ 防災安全課 「ピース・キャンドル・ナイトinいこま」
- ・ 生涯学習課 「ちびっこ文化祭」「サマーセミナー」
- ・ 生駒子どもの本連絡会 市内小学校
「サマーフェスティバル」
- ・ 小中学校、幼稚園、保育園、学童保育などへ
出前授業



(2) トライ！生駒子ども読書会議

子どもの読書推進について教諭、学校司書、保育士、PTA、保護者、ボランティア、行政職員など広く子どもと子どもの本に携わり第一線で活動している人が参加し、地域、学校、家庭の連携を強化しながら課題解決や新たな取組を考える会議。年3回開催。

(3) 互いに手を取り、いろいろなイベント

- ・いこまふるさとミュージアム

「ドキドキ、ドキッ！縄文クッキー作りin北分館」

- ・商工観光課「図書館教養講座」

- ・帝塚山大学公開講座

- ・市内ボランティア団体との工作イベント等

いこま自然塾、いこま宝の里、囲碁のまち生駒プロジェクト

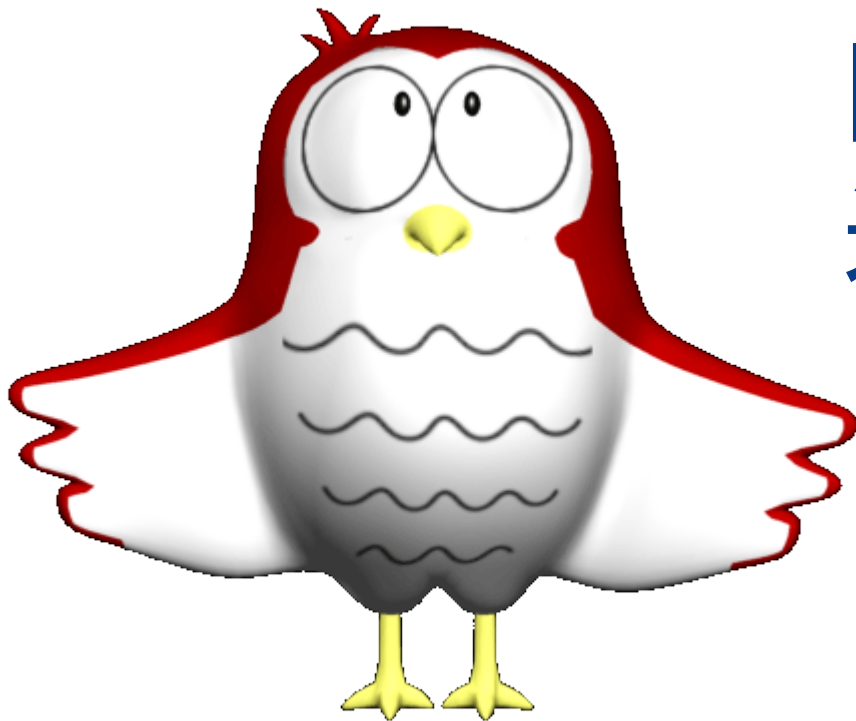
- ・CODE for IKOMAの協力「ウィキペディアタウンinいこま」

- ・商工会議所

ビブリオバトル全国大会での「生駒のおみやげ」出店

雑誌スポンサー制度PR協力

これからも、
人と本、
人と人をつなぐ
図書館として
進んでいきます。



図書館マスコット ふくちゃん